

中学道德通信



特集 哲学と道德授業

巻頭特別寄稿 教育改革 Vol.2

ボーダレスで不確実な時代に求められる道德教育とは

哲学思考で「同調」から「調和と協調」へ……………P2

鈴木 寛 東京大学公共政策大学院教授
慶應義塾大学SFC特任教授 日本サッカー協会参与

すでに役立つデジタル授業のツボ⑥

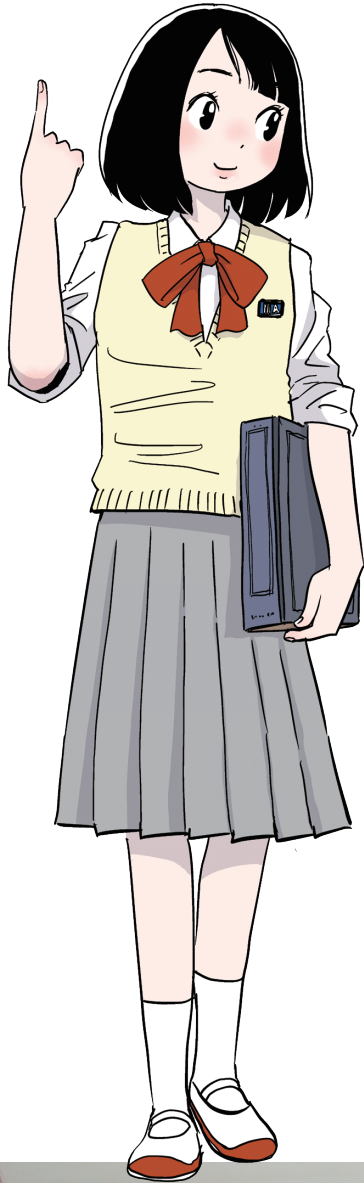
「ロイロノート」基本の「き」……………P16

小倉ちあき フリージャーナリスト

授業前に確認しておきたい

道德用語の基礎知識②……………P17

菅 明男 道德教育研究者



道德授業で哲学を学ぶ意味

当たり前を疑い深く考え議論することで

道德と哲学の相乗効果と好循環が生まれる……………P5

一ノ瀬正樹 東京大学名誉教授 オックスフォード大学名誉フェロウ
武蔵野大学人間科学部人間科学科教授

模範解答を類推させない極意

教師が哲学を「かじりこむ」

道德授業をもっと楽しむ……………P8

中村美智太郎 静岡大学教育学部・教育学研究科准教授

自由な議論と

自律的な判断力を養う

ドイツの道德教科書……………P12

新連載 私学の道德授業

学校法人仙台育英学園

秀光中学校……………P14

年36時間の授業を行う社の都の道德重視校



ボーダレスで不確実な時代に求められる道徳教育とは 哲学思考で「同調」から 「調和と協調」へ

道徳的価値の重要性を理解はしていても、それを行動に移し、実現するのは難しい。さまざまな板挟み・葛藤のなかで、同調を選んでしまう懸念が生じるからだ。逃げることなく人間の弱さに向き合い、あらゆる方向から観察し、思索し、洞察を深め、哲学教育を積み重ねることで「考え議論する道徳教育」が深まる。それぞれが違いを認め、リスパクトしながら対話や熟議を重ねることで、同調ではない「調和と協調」が生まれてくるのだ。

文／鈴木 寛

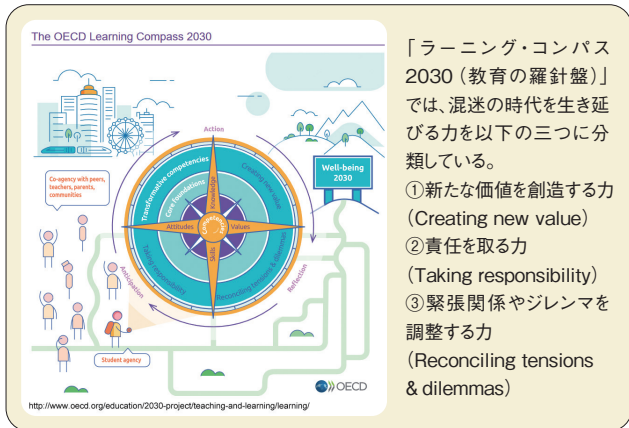
東京大学公共政策大学院教授 慶應義塾大学SFC特任教授 日本サッカー協会参与

**時代の変化に追いつけない
従来型目標達成のサイクル
が追いつかない**

筆者は、2014年秋から2018年秋まで、文部科学省参与・文部科学大臣補佐官を務め、2015年にOECD教育2030プロジェクトを立ち上げ、学習指導要領の改訂をはじめ、「特別の教科道徳」、新科目「公共」の導入などに関与した。

2018年にOECDが発表した学びの羅針盤（ラーニング・コンパス/P2図1参照）では、教育の目的として個人と社会のウェルビーイングに資することを位置づけた。コンピテンシー（優

【図1】



秀な成果を発揮する個人の能力・行動特性としては、新たな価値を創造する力、責任を取る力、対立やジレンマに対処する力が重要であり、そのためには、知識・技能のみならず価値観や姿勢・態度の涵養も重要であるとした。さらに、AAR (Anticipation = 見通し、Action = 行動、Reflection = 振り返り) サイクル (P3図2参照) や Agency (= 能動的責任主体性) の重要性も明記した。

令和元年 (2019年) 度から、特別の教科として「道徳」がスタートした。「多様な価値観が、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢・態度」を養うことが大切だとされ

ている。特に、発達の段階に応じて、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題として捉え、向き合うこと、および、人間としての生き方についての自覚に向けて動機付けを図り、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的価値や人間としての生き方について自覚を深め、道徳的価値に対する思いや考えをまとめ、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを糧にして、今後の発展につなぐことが重要であり、そのためには読み物中心の道徳教育から「考える道徳」議論する道徳」への転換を図ることが大切だとされた。

令和4年 (2022年) 度からは、公



鈴木 寛
すずき かん

東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学SFC特任教授、社会創発塾塾長、Teach for All Global Board Member、元・文部科学副大臣、前・文部科学大臣補佐官、日本サッカー協会参与など。1964年生まれ。1986年 東京大学法学部卒業後、通商産業省に入省。資源エネルギー庁、国土庁、産業政策局、生活産業局、シドニー大学、山口県庁、機械情報産業局などで勤務。山口県庁出向中に吉田松陰の松下村塾に何度も通い、若者の無限の可能性を実感し、人材育成の大切さに目覚める。



共（科目）が高校で必修科目として始まった。

「公共の扉」「自立した主体としてよ
りよい社会の形成に参画する私たち」
「持続可能な社会づくりの主体となる
私たち」といった三つの大項目が盛り
込まれ、大学で一部の学生によって学
ばれていた「公共哲学」の入門的な内
容が、高校で必修として、教育されるよ
うになった。

特に、「公共の扉」では

- 公共的な空間を作る私たち
- 公共的な空間における人間としての
在り方・生き方
- 公共的な空間における基本的原理
などが盛り込まれた。

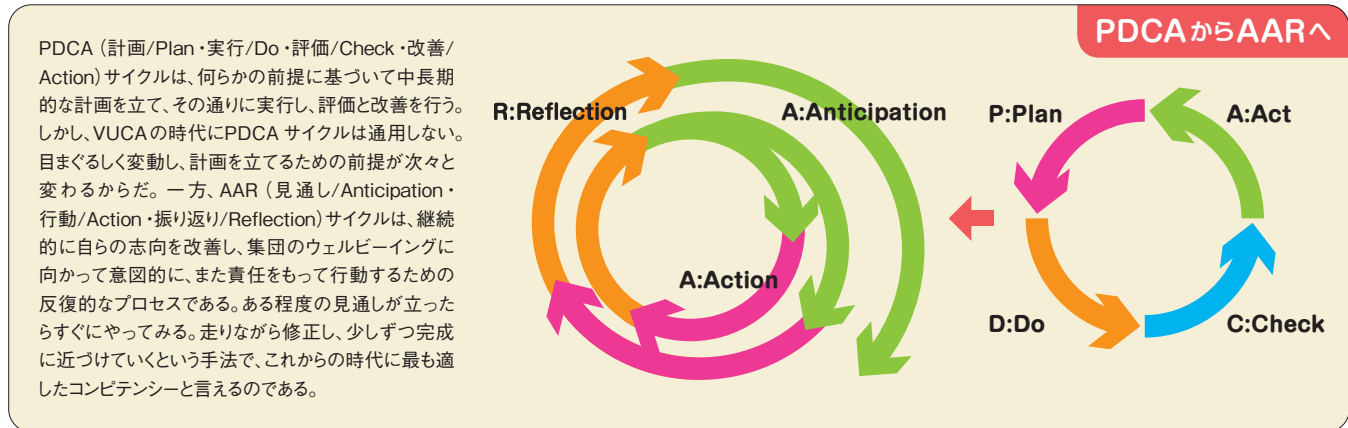
持続的でバランスの 取れた幸福感の 獲得を目指す

2023年6月16日には、新たな教
育振興基本計画が閣議決定されたが、
同計画のコンセプトとして「日本社会
に根差したウェルビーイングの向上」
が盛り込まれた。ウェルビーイングと
は、身体的・精神的・社会的に良い状態
にあること、短期的な幸福のみならず、
生きがいや人生の意義などの将来にわ
たり持続的な幸福を含む概念とされて
いる。

計画においては、

- 多様な個人それぞれの幸せや生きが
いを感じるとともに、地域や社会が幸
せや豊かさを感じられるものにするた

【図2】



哲学と道徳の教育を積み重ねることで、互いに違いを認め、リスpekトしながら、対話や熟議を重ね、同調ではない「調和と協調」が生まれてくる。



2023年5月12日～15日の期間、富山県及び石川県においてG7 富山・金沢教育大臣会合が開催された。永岡前文部科学大臣が議長となり、「コロナの影響を踏まえた今後の教育のあり方」を全体テーマとして、四つの大臣会合セッションにおいて議論を行った。「教育は民主主義や自由、法の支配や平和の礎である」との価値観を改めて共有するとともに、「コロナ禍を経た学校の役割の発揮とICT 環境整備」「全ての子どもたちの可能性を引き出す教育の実現」「社会課題の解決とイノベーションを結び付けて成長を生み出す人材の育成」「国際社会の連携に向け、新たな価値を創造するための国際教育交流の推進」について、取り組みの方向性に合意、「富山・金沢宣言」を採択した。

めの教育の在り方

● 幸福感、学校や地域でのつながり、利他性、協働性、自己肯定感、自己実現等が含まれ、協調的幸福と獲得的幸福のバランスを重視

● 日本発の調和と協調 (Balance & Harmony) に基づくウェルビーイングを発信

などが明記された。

特に、「調和と協調」に基づくウェルビーイングのアプローチに関しては、2022年G20教育大臣会合（インドネシア・パリ）議長総括にも示されたが、2023年5月12日から15日まで、富山と金沢で開催されたG7教育大臣会合で採択された「富山・金沢宣言」の中でもその重要性が明記された。

こうした一連の流れで見えてくるの

が、近年の中等教育における「哲学」と

「道徳」の教育の重要性の高まりである。OECD教育2030でも、態度や価値観の醸成が知識・技能と並んで学びの基盤であるとされているが、VUCA

(Volatility = 不安定、Uncertainty = 不確定、Complexity = 複雑性、Ambiguity = 曖昧性) これらが渦巻き目まぐるしく変化する予測困難な社会)やグローバル化により、多様な価値観をもった人々と日常的に共生していかなければなら

ない、正義や正解を一つに絞ることが困難な場面が増える時代となっている。加えて前述のように、ウェルビーイングが新教育振興基本計画やG7やG20でも重視されるようになっており、社会全体が、これまでのGDP至上主義を卒業して、主観的幸福をはじめとして、改めて、真の幸福とは何かを問い直すべき時代となっている。

哲学と道徳の融合が相乗効果と好循環を生む

これらの時代の流れを受け、異なる価値観や考えをもった他者の存在を認識、理解、リスpekトしていくことの重要性と、異なる存在といかに向き合っ

ていくかという態度の修得をめざす

「道徳教育」と、各自の価値観を醸成し、多面的・多角的な見方・考え方を獲得する「哲学教育」の重要性が高まっている。道徳教育においては、道徳的価値の重要性を理解することは当然だが、理解はしていても、それを行動に移し・実現することがなかなか難しいのが人間である。なぜ、難しいのか？ どんな板

挟み・葛藤に直面しているのか？ を、逃げることなく直視し、振り返ることが重要である。人間の弱さに向き合っ、はじめて人間というもの俯瞰的・多角的・多面的に観察し、思索し、洞察が深まっていく。同時に、哲学教育を積み重ねることで「考え対話する道徳教育」が深まっていく。まさに、道徳教育と哲学教育の相乗効果・好循環が生まれる。

道徳教育は、ともすると同調圧力となってしまう懸念が指摘されているが、まずは、それぞれが違いを認め、リスpekトしながら、対話や熟議を重ねることで、同調ではない「調和と協調」が生まれてくる。今こそ、それぞれの教育の現場で、対話や熟議を促すためのコミュニケーション・デザインや教授法が進化されていくことが強く期待される。

道德授業で哲学を学ぶ意味

当たり前を疑い深く考え

議論することで道德と哲学の

相乗効果と好循環が生まれる

文／一ノ瀬正樹

東京大学名誉教授 オックスフォード大学名誉フェロウ 武蔵野大学人間科学部人間科学科教授



一ノ瀬正樹 いちのせまさき

1957年茨城県土浦市生まれ ジョン・ロック、デイヴィッド・ヒュームなどイギリス経験論哲学の研究からはじまり、近年は因果、人格、確率などをめぐり独自の哲学を展開している。「死の所有」(東京大学出版会)、『確率と曖昧性の哲学』(岩波書店)、『放射能問題に立ち向かう哲学』(筑摩選書)、『英米哲学入門——「である」と「べき」の交差する世界』(ちくま新書)ほか、著書、論文多数。現在、『茨城新聞』に哲学のエッセイを連載中。また、「ためらい」をテーマにした哲学書を執筆している。

哲学教育は、問いを提起し、その問いに対する意見や考えを出し合い、みなで議論することで理解を深めていくもの。

この哲学的な考え方を道德授業に生かすことで、相乗効果と好循環を生み出すことが期待できる。

正義ほどややかしい概念はない

私は茨城の小学校「青葉台初等学部」で「子ども哲学」の授業を数回受け持ったほか、高校でも「哲学入門」のような講演会を行ったことがあります。

中学生に教えたことはありませんが、本稿ではそれらの経験から、道德教育と

哲学との関係性について私なりの考えを少し述べたいと思います。

道德は、「あいさつをしましょう」「いじめはいけません」といった小学生の生活マナーレベルの話だと何の問題もありません。大切なことなので、生徒にきちんと教える必要があります。しかし、道德や倫理では内容がもう少し複雑で深くなると、解決できない場面が多々発生します。

例えば、人権問題です。道德で人権を守ることの大切さを教えるのは重

要ですが、人権というのは場合によっては衝突することがあります。

代表的なのは、表現の自由とプライバシーの権利です。表現の自由があるからといって、他者について何でも好き勝手に発言したり、情報発信したりすることは許されません。

道德や倫理では「正義」が大きな意味を持ちますが、正義という概念ほどややかしいものはありません。戦争が典型的です。戦争はたいいてい自国の正義を主張しながら勃発し

ます。ロシアのウクライナ侵攻も、非常に許しがたい行為ですが、プーチン大統領はおそらく自分には正義があると考えているでしょう。

哲学の一番の反対概念は自分は絶対に正しいとする「独善」

道德や倫理は、平穏な日常生活が営まれている限りは問題になりません。しかし、何か深刻なトラブルが発生し、大きな意見の対立が生まれた



正義の女神テミス。剣と天秤を持つ正義の女神の姿は、司法、裁判の公正さを表す象徴として、司法関係機関に飾られてきた。司法も道德も大きな意味を持つ。しかし、哲学的には正義ほどややかしい概念はない。



遺伝子組み換え野菜や種を使った食品に対して健康上の不安をもつ人は少なくないが、もともとは飢餓や貧困対策と安くて安全な食品をと善意で開発されたものである。排除が正しいのかどうか、難しい問題ではある。

時に、道徳や倫理の難しさが表面化します。

例えば、死刑制度の問題や安楽死の是非です。「人を殺してはいけない」というのが道徳的な規範ですが、実際には人々の意見は多様です。

こうした問題を考える時に有効なのが哲学です。近年、学校教育に哲学が取り入れられるようになった背景には、社会の価値観が多様化し、日常のいろいろな場面で価値観の相違による意見の対立などが増えていることがあるのではないかと思います。

哲学の一番の反対概念は、「独善」です。自分は正しい、自分と違う考えは間違いだと断定するのは、非哲学的な考えです。道徳や倫理についても、実は深く考えると、絶対の答えは出ないんだ、難しいんだ、ということを理解してもらうことが、哲学教育の意義だと私は考えています。

哲学の領域の核心をなすのは、問いを提起することなので、哲学教育では、問いを提起し、その問いに対する意見や考えを出してもらい、みんなで議論することで理解を深めていきます。その学びが道徳教育にも影響を及ぼし、道徳教育と哲学教育の相乗効果・好循環を生みだすことにつながると期待しています。

具体的な例として、ここでは遺伝

子組み換え食品について考えてみましょう。日本では多くの食品に「遺伝子組み換えでない」と表示されています。遺伝子組み換え食品は健康面で不安だと考える日本人は多いと思います。しかし、遺伝子組み換え食品は、もともと貧困や飢餓を救うために、安くて安全なものという善意で生まれた食品です。遺伝子組み換え食品を排除するということは、逆に言う間接的には、自分は飢餓や貧困に無関心であるということになります。難しい問題です。

哲学的な幸せって何だろう

今年7月に小学校で、「幸せって何」というテーマで話をしました。「寝ている時」「おいしいもの食べること」など率直な答えが返ってきました。予想通りでしたが、その中に「勝った時」と答えた生徒がいて、話が膨らみました。スポーツやコンクールなどで優勝したらうれしい。確かにそうだと思います。しかし、勝負事には敗者もいます。

そこで「ウェルビーイング」の概念を用いながら話をしました。ハピネスは個人的な幸せで、意味する範囲が限定されるのに対し、ウェルビーイングは「身体的・精神的・社

会的に健康な状態」を指します。社会的に健全というのは人とのつながりも含むので、一個人だけでは成立しません。勝者の誕生は、社会現象として敗者を生みます。もちろん、敗者の中にはベストを尽くして満足している人もいれば、悔しさを涙を流す人もいます。はたして勝負事に勝つことは、ウェルビーイングと言えるでしょうか。

もう一つの例として、ある高校でのSDGsに関する講演について紹介します。おいしいものを食べるとチョコレートが大好きな人もいます。私は、西アフリカのコートジボワールやガーナが主要生産国ですが、カオの生産は児童労働の問題とも密接に関係しています。チョコレートを食べることで幸福を得ることは、児童労働を間接的に支持することにもつながりかねません。社会全体をよくすることが本来めざすべきウェルビーイングだとすれば、この問題はどうか捉えればよいのでしょうか。児童労働などを排除したフェアトレードチョコレートを選択することは一つの解かもしれません。

とすることがあるということですが、ウェルビーイングについて考えるのは簡単ではない、相応込み入った問題だと分かってきました。それは私自身が最近、実感していることです。

ウェルビーイングは、哲学の世界ではシリアスです。ウェルビーイングに宿る難しい側面も理解していただけだと思います。

絶対には正しくない！ というものはない

私は「ためらい」が大事だと考えています。これが正しいと思っても、もしかしたら違う見方があるかもしれないといったん立ち止まる。躊躇すること、つまり、物事には多面性があることを理解する。哲学教育を通じて、道徳教育ではその必要性を教えることが大切ではないかと思っています。

もちろん、多面性があるとは言っても、あらゆるものをすべて相対化すると、何も決まらないということになります。目の前の問題を解決するには、落としどころが必要です。それには民主主義的な話し合いしかなく、その時々で判断で一定の大枠の方向性を決めてそれに従う。

ただし、それも絶対には正しいものではないことを理解しておくことが大事になります。正しい選択なのか

特集 哲学と道德教育

チョコレートを食べると幸せを感じる人は多い。しかし、原料のカカオ豆はコートジボアールやガーナなど西アフリカの国が主な生産国。そこでは児童労働が問題となっている。



哲学の副作用としての効果

他方で、子供のための哲学、P4C (philosophy for children) の実践が、あくまで結果的にですが、国語や算数、理科の理解力アップに結びつくという期待されてもいます。さら

いないと悟ることを最終的なゴールにしています。ですから何かの役に立つというのは、本来の哲学の考え方からすると邪道です。「子供哲学」にも批判があります。哲学の教育で子供の思考力を伸ばしたり、問いの力を高めたりという目的のために哲学を学ぶのはおかしいという考え方もあります。

どうか、100%は分からないという自覚が必要です。同調圧力でこっちが正義だとみなさなければいけないという形になりがちですが、それはいけません。

哲学教育は、人間は知ったかぶりしているが、本当は何も分かっていないものになると期待できます。哲学教育の本来の目的に反してはいますが、そうした副作用が生まれています。

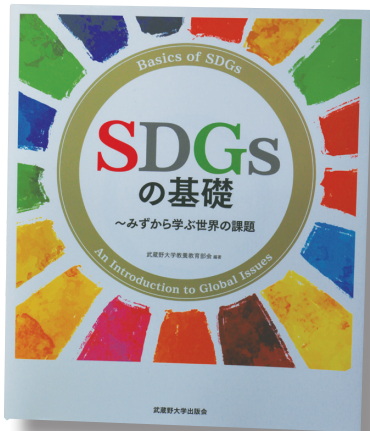
中学の道德教育では、小学生のマナー教育とは異なり、深い問題は難しいということを理解し、活発な議論が望まれます。さまざまな意見が出て当然です。答えを求めないということですので。本稿が先生方の道德教育の実践の一助になれば、哲学・倫理学の研究者として幸いです。



一ノ瀬先生がお薦めする

道德授業に役立つ 哲学入門の本

哲学は、本当に「分からない」ということを体験することから始まる。これが一ノ瀬先生の哲学入門の考え方。これは謎だ、これは不思議だ、ということを実感することこそが、最重要の核心だと言います。そういった意味では、『英米哲学入門』。すくなくとも授業に哲学的な問題を提起するなら『SDGsの基礎』が最適だ。



SDGsの基礎～ みずから学ぶ世界の課題

17のゴールと169のターゲットを持つSDGs。いまやおなじみの「持続可能な開発目標」だが、基礎の基礎から解説しているのが本書。特に後半の「SDGsを哲学する」は、私たちが考えるべき主題が例題集的にまとめられており、道德授業にそのまま生かせそう。持続可能性、気候変動、ウェルビーイングなど、現代的課題の対応も見えてくる。
武蔵野大学出版会 2,200円＋税



英米哲学入門— 「である」と「べき」の 交差する世界

事実（である）と規範（べき）が織りなす世界の謎を架空のシッテルン博士と生徒の掛け合いで論じ、世界の当たり前を疑ってみる。経験や言語を足場に考え抜いてきたロック、パークリー、ヒューム、ラッセルなど著名な哲学者たちの議論を糸口に、素朴だが深い哲学の根本問題を思考できる哲学入門書。ちくま書房 980円＋税

模範解答を類推させない極意

教師が哲学を「かじる」「いじり」で 道徳授業をもっと楽しくできる

文／中村美智太郎

静岡大学教育学部・教育学研究科准教授



中村美智太郎 なかむらみちたろう

1976年生まれ。一橋大学大学院言語社会研究科博士課程修了、博士(学術)。一橋大学特別研究員、マルブルク大学客員研究員等を経て、現職。静岡大学現代教育研究所副所長、文部科学省中央教育審議会専門委員。『討論して学ぶ探究的道德ケースブック』(静岡学術出版)他著書、論文多数。

哲学を「かじる」ということは、哲学者や思想家の知識を鵜呑みにしてひけらかすのではなく、それをヒントにして自然や世界、人生など複雑なことを熟考し、子供たちに言葉にして明らかにして明らかにすること、こつたことを地道に繰り返していくことで「考え、議論すること」が可能になり、道徳の授業がより自由で楽しいものになる可能性を秘めている。

哲学とは複雑な事象を 論理や原理によって 言葉で説明する学問

道徳の授業は、どのように実践すれば、「特別の教科 道徳」(以下、「道徳科」)がめざすものとなるのでしょうか。

道徳科の特徴は、ご承知のように「考え、議論する」です。これまでの「道徳の時間」では、読み物資料を活用して、登場人物の気持ちを推し量ることを中心に授業を展開するという傾向がありました。こうした傾向を転換しようというのが、この「考え、

議論する道徳」の趣旨になります。

先人たちの中で、「考え、議論すること」を地道に、かつ熱心に続けてきた人々は、哲学者と呼ばれてきました。哲学者というと、なんだか難しいことを深刻に考える人という印象があるかもしれません。

「哲学」という日本語は、古代ギリシア語の「フィロソフィア」を語源としています。この「フィロソフィア」は「フィレイン (philein) ≡ 愛する」と「ソフィア (sophia) ≡ 知」で構成された言葉ですが、この「知を愛する」という言葉を、「哲学」という言葉を造語して翻訳したのは、

明治時代の西周(にしあまね 1829-97)でした。

なぜ西は、「愛知」や「知愛」と翻訳せずに「哲学」としたのでしょうか(西は「希哲学」「窮理学」等とも訳していました)。最終的には「哲学」が定着しました。このことは、とても興味深い問題だと思えます。

そもそも「哲」という漢字は、「折」と「口」で構成される会意文字です。「折」は「絡み合った複雑な物事」を、「口」は「言葉で明らかにすること」をそれぞれ意味しているようです。だから、「哲学」とは、自然や世界、人生といった複雑に絡み合った状態で私

たちの前に現れるものを、論理や原理によって言葉で説明しようとする学問である、と考えることができます。

ところで、「フィロソフィア」が登場する以前までは、そうした複雑なこの世界について説明を与えてきたのは、「宗教」や「神話」でした。「世界はなぜ存在するのか」「正義とは何か」「よく生きることとはどういうことか」といった、複雑で大きな問いに、一定の解答を与えてくれたのです。ところが、これらには弱点もあります。それは、その説明が、これを信じるものの間でしか通用せず、

アテネアカデミー前に建つソクラテス像



古典ギリシア語の「フィロソフィア」を「哲学」と翻訳した西周
(写真 国立国会図書館)



道德授業で求められる 先人の知を鵜呑みにせず 物事を吟味する態度

これに対して、「フィロソフィア」は、神話や物語を使って信念に基づく根拠から説明しようとするのではなく、原理や概念によって言葉で説明しようとする、まさに「哲学」の漢字が示すような営みなのです。

このような哲学を「かじる」ことは、「考え、議論すること」へのすぐれた導きになるでしょう。このことは、哲学者や思想家についての知識を術学的に増やしていくことではありません。むしろそうした先人の知を鵜呑みにすることなく、それをヒントにしつつ、いったん立ち止まって物事をよく吟味する態度（「クリティカル・シンキング」）が、道德科の実践では求められています。

こうした実践は、より自由でより楽しいものになる可能性を秘めています。教師が、「神話」や「宗教」を解説するような役割を果たすのではなく、哲学者のように、こうした実践を地道に、かつ熱心に重ねることによって、新しい時代にふさわしい公共性や共同体のあり方を一人一人が描き出していくことが期待されます。

ところで、もともと「フィロソフィア」は、単に「愛知の学」を意味しているだけですので、「何」を明らかにしたいのかまでは、少なくとも言葉の上では、未規定のままであるとも言えます。もちろんこの世界を体系的に明らかにしようとした先人は多くいますが、逆に言えば、明らかにしたいことはそれだけ多様であるはずとも言えます。

道德科で考える対象も、本来は多様なものであり、また複雑に絡み合ったものでもあります。道德科で示される内容項目は、こうした複雑さに立ち向かう際の、思考するためのよくできたガイドラインの役割を果たすものです。ですから、内容項目をあたかも「神話」や「宗教」であるかのように扱うことは避ける必要があります。

このように考えると、道德科を担当する教師は、教材に対する暗黙のうちに想定される模範解答を学習者に類推させるのではなく、学習者がそうした複雑な対象に対して、どのような立場に立ち、どのような観点から考えたいのかといった主体性をこそ、大切にすることが望ましいと言えるでしょう。教師がそうしようとしてこそ初めて、「考え、議論すること」を楽しく

実現できるのではないのでしょうか。西の生きた時代は、幕末から明治期にかけての、まさに時代の転換期でした。「時代の転換期」という点では、しばしば「VUCA時代」とも形容される不確実性のより高い、私たちが生きるこれからの時代もよく似



『アテナイの学堂』（ラファエロ作）に描かれたプラトンとアリストテレス

た状況の中にあると言えるでしょう。私たち自身が新しい時代を創っていくにあたって、知的に誠実な態度を身につけられ、多面的・多角的に「考え、議論すること」ができる道德科の授業が果たす役割は、決して小さくないはずです。

ドイツ版「道徳」授業は、 宗教科の代替教科

中村美智太郎

ドイツでは「倫理・哲学科」の授業があり、「考え、議論する」活動を実現することが重視され、日本の道徳授業との共通点があります。また、子供たちに人気の科目であることが知られています。



るほど、その分対立が生じやすいことは、日常的に経験されることではないでしょうか。道徳教育も、そうした課題に対応するために新しい実践の形を模索し続けています。

ドイツでは、日本の「道徳科」に近い教科として、「倫理・哲学科」が挙げられます。ただし、この科目名称やカリキュラムは、各州によってさまざまであることが特徴です。例えば、「価値と規範科」「倫理科」「実践哲学科」「哲学科」など、色々な名称があり、それに応じて学習内容も多様です。

もう一つの大きな特徴は、哲学・倫理学の領域に関わるこの教科の扱いが、法的には「代替教科」という位置づけになるということです。これは、正規の教科としてのキリスト教の宗教科に対する「代替教科」という意味です。つまり、学習者が、キリスト教の洗礼を受けていない場合や、

あるいは信教上の理由から宗教科の受講を希望しない場合に、宗教科に代わって受講する科目ということになるのです。

この倫理・哲学科の授業では、宗教科とは異なり、特定の世界観や宗教による制約を受けず、さまざまな世界観や宗教を学ぶこととなります。

例えば、ノルトライン・ヴェストファーレン州の実践哲学科で学ぶ内容を参照してみましょう。「自分自身への問い」「他者への問い」「良い行いへの問い」「法律、国家、経済への問い」「自然、文化、技術への問い」「真実、現実、メディアへの問い」「起源、未来、意味への問い」といった七つの問題領域にわたっており、哲学的な問いを幅広く扱っていることが分かります。興味深いのは、人間学や法哲学、自然哲学に形而上学といった、いわば古典的なものだけではなく、メディア哲学や技術哲学といった領域もカバーしていることです。伝統的で理論的な背景のあるテーマに加えて、現代的な、その意味でリアリティのあるテーマも扱っていて、バランスよく配置されている点が目を引きます。

例えば、「男の子らしいってどんな

こと？ 女の子らしいってどんなこと？」という章では、生物学上の性別とは別に、典型的な思考パターンに当てはまらない共通性や好み、興味があることに目を向けた学びが、いくつかの問いと議論を通じて、深められるように構成されています。まさに「考え、議論する」ことが実現できることが重視されていると言えます。

授業方法としては、コンピテンシー（資質・能力）志向で行われることを前提としています。ですから、教師の意図を強く反映したものではなく、学習者の到達能力を重視した、観察可能な指標が示されています。これには、例えば「論理的に議論する」「哲学的な対話を行う」「文章を分析し、その意味を解釈することができる」などの能力が含まれています。授業を通じて、自由な議論が期待され、学習者が自律的な判断力を発達させることがめざされています。このため、相互に傾聴する態度を尊重することも重視されます。

このように、コンピテンシー重視で、学習者の主体的な学びを実現しようとしている姿勢が、子供に人気がある秘密なのかもしれません。

グローバル社会においては、民族や宗教、文化などの多様性をどのようにに認め合うのかという問題は普遍的な課題であるとともに、常に喫緊の課題でもあります。日本の社会や学校でも、価値観が多様であればあ

中村美智太郎先生お薦め「一度は触れておきたい哲学者たち」



『神は死んだ。』

ニーチェ 1844～1900

「神の死」は、西欧を支えてきた「真の世界」を重視するキリスト教的な価値の解体を宣言する、ニーチェの後期思想における重要概念。現実の向こう側に設定したもう一つの世界こそが「真の世界」だとする考え方を批判した。



『ミネルヴァのふくろうは、日の暮れ始めた夕暮れとともに、はじめてその飛翔を始める。』

ヘーゲル 1770～1831

ドイツ観念論の代表的な哲学者。弁証法に基づき、人間精神の領域を含む体系的な思想を展開。「進歩」として歴史を描こうとし、ふくろうが夜になってから活動するように、哲学が時代の最後にその時代の精神を総括するものとして登場するとした。

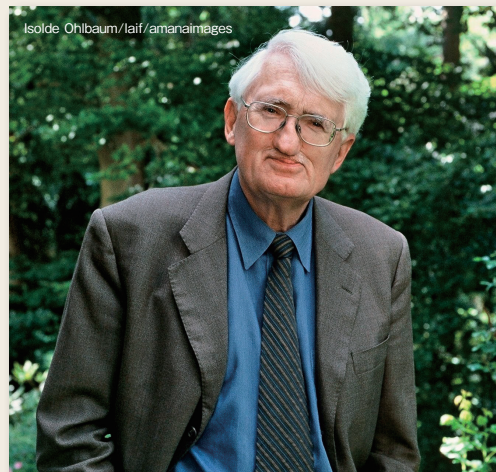


『人は生まれながらにして自由だが、今やあらゆるところで鎖に繋がれている。』

ルソー 1712～1778

『社会契約論』や『エミール』の著書で知られる。悪徳や不幸は社会に由来するものと考え、内なる良心の声を聞き、本来の自己に回帰する自然人のように、人間は本来、幸福な存在だとした。子供の自由を重視する消極教育の必要性を説く。

■【主要参考文献】
 ■『岩波 哲学・思想事典』岩波書店 1998年
 ■『新版増補 生命倫理事典』太陽出版 2010年
 ■『世界の教科書シリーズ46 ドイツの道德教科書』
 ■5、6年実践哲学科の価値教育』明石書店 2019年



『合理的発言は批判可能であるから、また訂正可能でもある。』

ハーバマス 1929～

ドイツの社会哲学者で、公共圏やコミュニケーションの理論で知られる。自由に議論する場であった公共圏が形式民主主義へ構造転換したと考え、言論による合意について考察を続ける。多方面で議論を喚起し、ドイツだけでなく国際的にも大きな影響を与えている。



『正義について考えるなら、我々是否が応でも最善の生き方について考えざるを得ないのである。』

サンデル 1953～

アメリカの政治哲学者。正義や正しさとは何かを問う中で、それらを善さと改めて結びつけて論じた。『ハーバード白熱教室』*1のように、道徳的なジレンマや社会的な問題を題材に参加者からさまざまな考えを引き出しつつ、対話によって議論を深める教育方法でも知られる。

*1 ささまざまな背景をもった世界の若者たちと現代社会の難問を議論し合う『ハーバード白熱教室』『マイケル・サンデルの白熱教室』がNHKで放映され話題になった。

<https://www.nhk-ondemand.jp/program/P201000059300000/>

自由な議論と自律的な判断力を養う ドイツの道徳教科書

どのように行動すべきなの？

13歳のチリ出身の若者たちが、なんでもじっくり考える年寄りのイバラ先生と一緒に、「なぜ人は悪い人であるべきなのか」や「なぜ悪い行いをすべきなのか」という問題について話し合っている。

カミラが話しはじめた。「例えとしてこんなことを想定してみます。私が、ある高価な指輪を見つけて、それが友だちのものにかかわらず自分のものにしたいたいと思っています。もしその指輪を自分のものにしたならば、私はまちがいに強いの悪い罪悪感をいだくことになりません。そして、もし友だちが私にそんなことをしたら、私は憤慨するでしょうし、しかも私は被害者本人なので、その友人に怒りすら感じるはずだからです。たぶん、自分自身が何か似たような悪いことをしてしまった場合には、悪いことをしたほかの人たちに対して憤慨しながらも、後ろめたさを感じるようになるはずですよ」

「それはそうだけど」とセバステイアンが言った。「だけど、もし誰かが良心の呵責を完全に無視したとしたら、その場合はどうなるんだろう？」「どうしたら良心の呵責を無視するなんてことができるの？」とグローリアが訝しげにたずねた。「すごく簡単なことだよ、グローリア」とセバステイアンが言った。「かりに私がカミラの指輪をすぐ気に入って、自分のものにしてしまおうとしたら、その場合、罪悪感なんてほくにはほとんどないよ」

グローリアは黙った。いったいどうやって反論したらいいのかわからないように見えた。「セバステイアンが言ったことには、一理ある」とイバラ先生が口をはさんだ。「当然、そういうことは起こりうるんだ。あるものに対する利害関心がとても強ければ、それだけ罪悪感は弱まってしまいかねない。とはいえ、こういう個々のケースが普遍的な法則に影響を及ぼすことはありえないと思うよ」

「どうしてですか？」とセバステイアンがたずねた。「評価されるのは善い人間であって、悪い人間ではないからだだよ。自分は罪人だという意識をもたざるをえないとき、私たちは自分のことを、軽蔑すべき人間だとみなすんじゃないかな？（中略）」

「だけど、もし誰もその悪事に気づいていないとしたら？」とセバステイアンは食いさかした。「そうだとすると、自分を責める気持ちはそのまま残る。あらゆる人々から賞賛や承認を得ているとしても、内心では、自分は悪いやつだと知っているんだからね（中略）」（中略）

「うん、たしかに」とマヌエルが言った。「でも、たぶんそれよりも何よりも、自分自身のふるまいを恥ずかしいと感じるからだと思うよ」

「私たちが普遍的なふるまいへと振り立てるのは自分の羞恥心である、と言ってよさそうだね。それと、人間として価値がない、などと自分のことを思いたくはないという願望じゃないだろうか？」

「はい、それがぼくにとってはいちばん重要なことだと思います」とマヌエルが答えた。エルンスト・トゥーゲントハット、セルソ・ロベス、アンナ・マリア・ビクーニャ

1 人は、他人から見られていなくとも、良い行動をするとイバラ先生が主張するのはなぜなのか、理由をまとめよう。その考えは正しいかどうか、またあなたがた自身はマヌエルが最後に述べた意見に同意するのかわかろうかを話し合おう。

本来ならばすべきではないことをやってしまう理由はさまざまです。しかし、自己中心主義によってほかの人や結局は自分自身を傷つけるということ、最後にはすべての人が悲しい思いをするということを自覚している場合、人はたいてい良い行動をとります。たとえその選択が危険な場合でも、鏡を見た瞬間には自分自身を誇りに思うのではないのでしょうか。

6. なぜ悪い行いをし、悪い行いはしないでおくの？ 89

中村美智太郎先生がP10で解説したノルトライン・ヴェストファーレン州の「実践哲学」教科書は、どのように教材を掲載しているかを紹介します。

日本の道徳授業でどのように扱うかについては、さらなる研究と実践が必要と考えますが、何かの機会に生徒たちと共に考えてみてはいかがでしょうか。

はしないでおくの？

の手にある秘密の金の指輪を、あるうい話がある。羊飼いは指輪を引、手のひらの内側に指輪を回すと、もう一度指輪を外側に回すと、姿が変る。指輪の素晴らしい力を使おう

してみよう。自分の姿が見える鏡（参照）

いて、どの点で異なっていますか？

鏡に視たかった。喜びをたくさん客を呼んで大いえないなんて考えられなちが広がってしまう。そきな鏡を置き、招待客がは、客がほかの客から多えたのであった。身をすくった。しかし、同じことを考えていた自分が一本の水を握



べきだ。

めて

状況をイメージし
何が起ころでしよう

書かれているルー
なちがいがあ

れにしたがって上
配置しよう。ま
ようなルールを新
た

た例を集めよう。

防士は、どのルー
でしょうか。ここ
どのような決断を
しましょう。

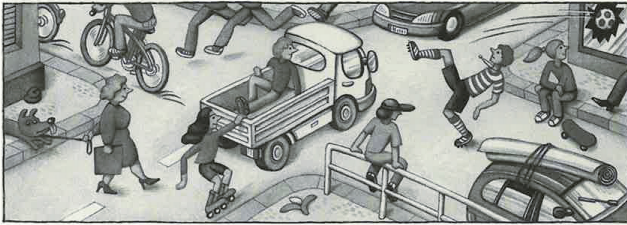
やっというの？ 95

ここに掲げた教材は『世界の教科書シリーズ46 ドイツの道德教科書15、6年実践哲学の価値教育』(編集代表 ローランド・ヴォルフガング・ヘンケ 監訳者 濱谷佳奈 明石書店発行 2019年)に掲載されています。他の教材については、本書をご参照ください。



1. 何でもやりたいようにやっているの？

ルール



交通計画を立てる人になったと想定します。上のイラストをもとにして、道路を使う人が満足できるような交通管理を構想しましょう。

混乱した状況に秩序をもたらす交通ルールが定められたので、道路を使う人は皆、仕事や学校へ安全に行くことができるようになりました。

日常的なかに「ルール」は存在しています。ルールは安全を向上させ、命と健康、そして財産を守ります。ルールには、決まった行動を義務づける原則が含まれます。道路交通やスポーツ、学習、仕事や遊びの場で、ルールを無視することはできません。もし、上のスケッチに描かれているような混乱が、あらゆる生活の場に入り込み、すべての人が頭に思い浮かんだことや一番楽しいことを好き勝手に行ったら、どのようなものか、想像してみてください。それでもまだ楽しむことができるでしょうか？ ほかの人はどんな反応を見せるでしょうか？ そもそもそのような状況では、平和な相互関係はありうるのでしょうか？

原則は視覚的に示されています。たとえば交通標識や遊びのルール、スポーツのルールなどに見られます。一方で、言葉によって言い伝えられる原則や、皆と一緒に取り決めた協定にもとづく原則もあります。



交通標識や大勢で遊ぶゲームを三つ選び、どのようなルールがあるかを説明しましょう。

6. なぜ善い行いをし、悪い行いはし



ギューゲースの指輪

ピラトンの伝承話の一つに、死んだ男の手に羊飼いがどのようにして見つけたのかという昔話がある。羊飼いは、自分の指にはめた。羊飼いは、自分の姿が消えることに偶然気がついた。もう一度見ると、羊飼いは再び見えるようになった。こうして、羊飼いはうとうと決心したのだ。

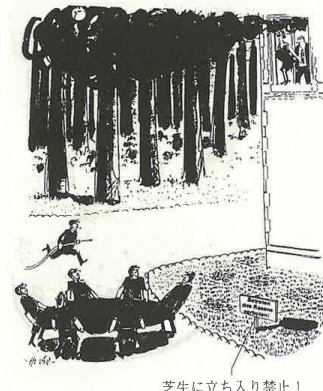
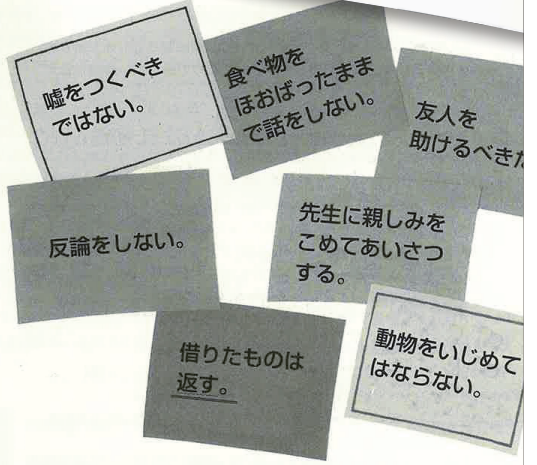
- 1 一日あるいは一週間、この指輪を持つことができると想像してみよう。考えたいことを何をしてみたいですか？ (125 ページ「思考の泉」を参考にしてください) 物語の内容はどの点で似ていて、異なる点は何ですか？ あなたの決断によって、どの背景や事情が重要ですか？
- 2 考えた物語を発表しましょう！ 物語の内容はどの点で似ていて、異なる点は何ですか？ あなたの決断によって、どの背景や事情が重要ですか？

他人を犠牲にして

その新郎新婦はお金をたくさん持っていなかったが、皆と結婚を一緒に祝分ちあうことで、喜びが二倍になると考えたからであった。そこで、たくさんのお金を用意して、自分たちの喜びをほかの人と分かちあえないか考えた。だがこのままでは、どっちみち客に喜びよりも同情の気持ちが広がる。彼らは招待客にワインを一本持つてくるように頼んだ。玄間に大きな樽の贈り物を飲むことができようと思ったのだ。そうすれば、客のパーティが始まった時、ウェイターが樽のところにいき、樽の中身をすのめ、皆はその場で座ったままか立ったまま石のように固くなった。自分の中に注いだとしても、誰も気づかないだろうと考えていたのだが、今日はほかの人たちの費用を使って祝おうというのが、客たち全員が考えた。動揺、恥ずかしさや不安でいっぱいになったが、原因は飲み物が水しかないということだけではない。真夜中になりフルートの演奏が終わると、皆は黙って家路についた。パーティーは開かれなかったかのようにだった。

中国の寓話より

- 1 なぜ、パーティーは「開かれなかった」と言われたのでしょうか？
- 2 「分かちあうことで喜びが二倍になる」ということわざについて説明しましょう。



芝生に立ち入り禁止！

- 1 交通標識が無い状況で歩きましょう。道路では何が起きますか？
- 2 このページの上にかかれたルールには、どのようなルールがありますか？
- 3 見出しを考え、それに合ったルールを配置した、見出しに合うようにルールを付け加えましょう。
- 4 ルールが変えられた例を説明しましょう。
- 5 左の絵の場面の消防士はどのようなルールに従っているのでしょうか？ 描かれた消防士がどのようなルールを説明しているか、説明しましょう。

併設型中高一貫校のメリットを生かし、地元との「密」な交流も

年36時間の授業を行う 杜の都の道徳重視校

「高度な学力・豊かな感性・生涯学習者としての自覚を持ち、持続可能な社会の構築に“至誠”によって貢献するグローバルシティズンを育てること」を目標に、世界に門戸が開かれた国際バカロレア認定校、ユネスコスクールの加盟校である仙台育英学園秀光中学校。道徳授業を重視し、建学の精神を学ぶ動画を道徳の授業に1時間を充て、年間36時間の授業を行っています。教師陣も入念な準備で授業に臨みます。

仙台育英学園の誇りと 道徳的な感性を磨く

惜しくも夏の高校野球甲子園大会で二連覇とはなりませんでしたが、仙台育英高等学校の大活躍は記憶に新しいところ。秀光中学校は、その付属中学として2003年4月に設置された秀光中等教育学校が前身で、2021年度から仙台育英学園高等学校と併設型の中高一貫校になりました。宮城野キャンパスには、秀光中学校と仙台育英学園高等学校秀光コースが設置され約140名の生徒が学んでいます。

進学実績を重視するあまり、道徳の指導が形だけになってしまいうケースもあるようですが……。秀光中学校は特に道徳を重視し、年間36時間を費やし

ています。

「入学すると最初の道徳の授業で建学の理念・精神をドラマ仕立てにした映像を観せ、子供たちに当校の素晴らしさを感じてもらいます」

こう語るのは同校教頭の佐藤雄一先生です。二、三年生は建学の理念をこの映像から振り返り、仙台育英学園の生徒であることの誇りや道徳的な感性を磨き、公立校と同じ年35時間、トータル36時間の道徳授業を受けることとなります。

「進学を控えた三年生でも道徳の授業が大好きな子が多いですよ。議論する中で、どんな意見でも出し合える環境が三年目ということもあり醸成できているので、否定したり、誹謗中傷したりすることはありません」（高橋愛先生）

「どんな意見も発言し、それをお互い

に許容することができています」（蓬田香織先生）

「仮にモラル的に良くない意見でも、発言にはクラス全員で拍手します。さまざまな考え方があっていいことを自覚しているからです。子供たちのふりかえりノートを読むのが楽しみです」（秋山直道先生）

紙とデジタルの融合を 実践する

こうしたことができるのも、一つには少人数の私立ならではのかもしれないかもしれません。連帯感と同時に、クラスメイトの個性がよく分かっているからでしょう。それだけに、逆にクラスがギスギスすることもまれにあります。そうした時は、すれ違いや人間関係をテーマにした教



秀光中学校（宮城野キャンパス）

宮城県仙台市宮城野区宮城野2-4-1

<https://www.sendaikuei.ed.jp/shukoh/>

材を選び、道徳授業を使ってクラスをまとめることもあるそうです。教材はクラス担任が年間計画を立てて責任をもって進め、季節や学校行事に合った教材を選び、フレキシブルな対応も行っています。仮に計画を変更した際は、教師間のミーティングで情報共有していくというのが秀光流です。

同校ではクラッシュ＋クロームブックの組み合わせで、ICT教育も進んでいます。コロナ禍で登校もできない時は、



高橋愛先生 (英語)

授業の着地点を意識せず、問の提供に徹します。例えば、電車やバスで席を譲るのは当たり前だと理解していても、実践はできない。その動けない「心」を探り、実践力を磨きます。

蓬田香織先生 (国語)

仮に良くないことをする生徒がいたり、不穏当な発言があっても、議論する中で、その人の価値観を認めると同時に、自分になかった価値観を発見できるのも道徳授業ならではの。

秋山直道先生 (社会)

道徳授業は、価値観のすり合わせだと思えます。他の生徒の発言や行動に違和感を覚えて当然で、教師が授業の方向修正をしてまとめなくても、生徒が互いに理解した合えます。

伊藤沙絵先生 (英語)

道徳授業を道徳感だけで終わらせず、生活に生かせる実践力を養わせたい。ただ、大震災の被災家族、留学生、帰国子女も少なくないで命に関わることは、慎重に進めています。

佐藤雄一教頭先生

創始者から受け継がれる生活信条を生徒会が毎朝、生放送で流し、中学生、秀光コースの高校生約140名の生徒全員が唱和することで、学校の理念、建学の精神を徹底しています。

リモート授業が行われました。しかし、教師も子供たちも慣れたものでした。というのも、東北ならでは、悪天候のときなどは、以前からリモート授業をしてきたからです。

「デジタル一辺倒で授業をしているわけではなく、紙の教科書や副教材、ワークシートなども使っています。評価も書く欄を利用し、さらにPCで個別に書き出しています」(伊藤沙絵先生)

コロナ禍で影をひそめてしまったのが職場体験ですが、もともと実施していませんでした。しかし、キャリア教育として、地元で会社を興したOBが来校して、それこそ資金調達といった起業のことから、仕事の楽しさ厳しさなど生の声を届けてくれたり、生徒たちとビジネスのアイデ

仙台育英学園 建学の精神

建学精神は「至誠」「質実剛健」「自治進取」であり、そのなかでは、「至誠」が最も上に位置するものである。「至誠」とは、「真心という人間のもつ自然な心」そのものであり、本学園に学ぶ生徒に期待する“人間としての生き方・考え方”である。「至誠」を支えるための手段・方法概念として、「質実剛健」と「自治進取」を位置づけ、「質実剛健」と「自治進取」を具現化するために、「生活信条」の七箇条を制定している。「質実剛健」とは、単に質素儉約で身体を鍛えるだけでなく、生きていくための力である体力と精神力を自己研鑽によって、総合的に累積していくということである。「自治進取」とは、どんな時代にあっても自己の能力に限界を定めず、さらに挑戦していくということである。

アを出し合ったりする地元の方々との交流もあります。

教師の立場としては、私立校は他の公立校との交流が少ない傾向にあります。仙台市では公立私立の垣根なく、さまざまな研修会があり、市内の公立中学校の動きや各校の工夫も参考になるそうです。

公立の先生の話を聞くにつけ、私立の中高一貫校で良かったと思うことは、中学を卒業しても、心身ともに成長していく子供たちの姿を追えること。これは秀光中学校の先生の共通の感想です。私立だからできること、私立でもできることを組み合わせ、子供たちの成長を確かめながらキメ細かい独自の道徳教育を進めているのが、秀光中学校の大きな特徴でもあります。

生活信条七箇条

- 互譲 一. われらは互いに譲り合い明るい人間関係を建設する
- 切磋 一. われらは互いに磨き合い真の学力を身につける
- 練磨 一. われらは互いに鍛え合い強靱なからだをつくる
- 規律 一. われらは互いに戒め合い節度ある生活をする
- 寛容 一. われらは互いにゆるし合い和やかな学園を建設する
- 感謝 一. われらは人や物に感謝し慎み深い生活をする
- 奉仕 一. われらは率先して事にあたり世のため人のために力を尽くす

秀でた知性と光り輝く感性。秀光中学校と仙台育英学園高等学校で学ぶ併設型の中高一貫教育、学習方法としての国際バカロレア教育、教育の軸としての“Language, Music & Science”によって、「高度な学力・豊かな感性・生涯学習者としての自覚を持ち、持続可能な社会の構築に“至誠”によって貢献するグローバルシチズン」を育成します。

生徒の意見が出なくて評価しづらい……は、シンキングツールで解決！

ロイロノート・スクールの基本の「き」 其の二

小倉ちあき フリージャーナリスト

道徳の授業で生徒に問いかけてもなかなか意見を出してくれない……というお悩みはありませんか？「ロイロノート・スクール」は、今や日本のICT教育を語る上でも外せないアプリケーションの一つ。ロイロノートのシンキングツール「ウエビング」を使えば、生徒が意見を出してくれやすくなりますよ！



小倉 ちあき おぐらちあき

元京都芸術大学非常勤講師。教育関係から地域のアート活動まで幅広く取材・発信。ハーブのセラピストとして、心地よい日常を過ごすためのアドバイスも行う。

匿名性で、グループワークが どんどん活発になる

グループワークに活用できるのが、シンキングツール「ウエビング」。まず生徒に課題を出し、意見やアイデアをカードに書いて提出してもらいます。それらの意見やアイデアは生徒名を匿名にして、生徒全体に公開できます。最近の生徒たちには人前で意見を求めたり、名指しで褒めたりするよりも、匿名性が保たれたまま意見やアイデアを褒めてあげるほうが喜ばれる傾向にあるようです。また匿名で意見を共有し合えるため、発言も積極的になり、個人のユニークな意見をピックアップしやすくなります。

リアルタイムを保存できるので、生徒の評価も早くなる

シンキングツールを使う先生側のメリットもあります。それは授業内で出た生徒の意見やグループワークでのやり取りをデータ保存しておけるということです。紙で保存するとしてもかさばったり、整理そのものに時間がかかったりしがち……。授業中の状況をそのままデータ保存しておけるので、状況を思い出しやすく生徒の評価も素早くできるでしょう。もちろん必要な時に必要な部分だけ、紙でプリントアウトすることもできるのでご安心ください。



カード上になっているのが、生徒たちの意見やアイデア。上記のように図式化して分類することもできる。

授業の前に確認しておきたい

道徳用語の基礎知識②

菅 明男 道徳教育研究家

理解していても、一言で説明しにくい用語を道徳教育研究家の菅明男先生が解説します。
「道徳用語の基礎知識」第二回は、もう一度おさらいしておきたい文科省指導要領から、
足元を固めてクラスをいかにまとめていくかのヒントも、指導要領に記されています。

内容項目

道徳的価値とは、よりよく生きるために必要とされているものです。それは、人間としての在り方や生き方の基となるものです。

学校教育では、これらのうち発達段階を考慮し、生徒一人一人が道徳的価値観を形成する上で必要なものを内容項目として取り上げています。



内容項目は、関連的、発展的に捉え、年間指導計画の作成や指導に際して重点的な扱いを工夫することで、その効果を高めることができます。

ねらい

道徳科の内容項目を基に、ねらいとする道徳的価値や道徳性の様相を端的に表したものです。

作成の際には、指導の内容や教師の指導の意図が明らかになっているかどうか確認しましょう
(道徳科のねらいは到達の基準等を示したものではありません)。

主題名

「ねらい」と「教材」で構成した主題を、授業の内容が分かるように端的に表したものです。

主題の設定においては、主題に関わる道徳教育の状況、それに伴う生徒の実態などを考慮しましょう。

導入

私は、道徳科の導入は、主に三種類と考えています。

① 主題への導入

主題に関わる問題意識をもたせます。事前アンケートの結果提示、体験を聞く、統計他資料提示など。

② 教材への導入

教材の内容に興味や関心をもたせます。題名から想像する、登場人物の絵を見る、教材に関係したものを提示するなど。

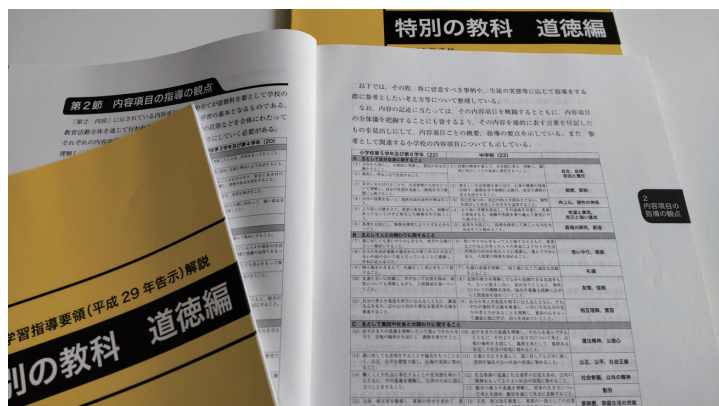
③ 授業への導入

気持ちの切りかえをします。(運動などをした後、昼休みの後など、心を落ち着かせたい時黙想する、静かな音楽を聞くなど、真摯に教材を受け入れる雰囲気を作ります)。

教師の説話 (教師の体験談)

教師が体験を自ら語ることによって生徒との信頼関係が増すとともに、教師の人間性がにじみ出る説話は、生徒の心情に訴えます。

体験談として、余韻をもって終えましょう(価値の押し付けやお説教にならないように気を付けましょう)。



日本教科書からのお知らせ



『日科 中学道徳通信PLUS vol.01』をリリースしました！

季刊の本誌『日科 中学道徳通信』に加えて、A4サイズ4ページのリーフレット『日科 中学道徳通信PLUS』を創刊しました。日々ご多忙の教員生活の中で、道徳授業の準備をする時間を取りにくいという先生方に、「授業分析」「板書」「さらにはタブレット端末の活用アイデアなどを凝縮しました。創刊号では金沢工業大学の白木みどり先生による教材『嵐の後に』を取り上げ、教材分析、授業づくりの手順を紹介しています。また、世田谷区立芦花中学校の植木幹明先生のロイノートの活用法をまとめています。

試してほしい！授業が面白くなる「教材分析」のコツ

試してほしい！授業が面白くなる「教材分析」のコツ

道徳授業の準備をする時間が少ない！

日科を定める教員生活の中で、道徳授業の準備をする時間を取りにくいという先生方に、「授業分析」「板書」「さらにはタブレット端末の活用アイデアなどを凝縮しました。創刊号では金沢工業大学の白木みどり先生による教材『嵐の後に』を取り上げ、教材分析、授業づくりの手順を紹介しています。また、世田谷区立芦花中学校の植木幹明先生のロイノートの活用法をまとめています。

YES YOU CAN!! 1時間あれば... 教材内容の理解+発問吟味+板書例+心がまえ

試してほしい！ 授業が面白くなる「教材分析」のコツ

導入で「友達」に関するデータを使用

居酒屋 信 明夫 幼なじみ 勇太 水産高校 船主

嵐の後に

派手な仲間、開かれ楽しそう、仕事をやめてから、漁師見習い、働さぶり

「勇太お前がうらやましかった」

二人の距離が縮まり、顔を合わせて手を握り合う、光が降りてきていた

「待つとったんやぞ」

置いとけばいい、うらやましい、親父の船に乗らないか、不満、感心できない

教材分析 授業づくりの手順

- 1 白紙を用意し、真ん中にタイトルを書く
- 2 教材を読んで内容を把握する
- 3 登場人物の道徳的価値の表裏面を見つける
- 4 わらうとする内容項目と授業のねらいを決定する
- 5 本教材でも考えさせたいことは何か決める
- 6 児童生徒の興味関心を喚起する導入を準備する (CT活用 動画、データ等)
- 7 教材の内容把握のための発問の設定
- 8 思考課題に基づく多様な意見が出される発問の設定 (多様な価値観との出会い)
- 9 わらうとする道徳的価値について、自分事として発問的にとらえることのできる発問の設定、補助教材の活用

発問

「～」の部分で教材分析により吟味してみましょう

発問の、意味、反響的 シンプル基本発問

- ① ～をどう思う？
- ② ～は、どうして(なぜ)？
- ③ ～は、どうしたらよい？

道徳の授業での一人1台のタブレット端末 活用法1

タブレット端末を活用することで、考えの時間と議論する時間を増やす。自己を見つめる振り返り時間をも確保することが出来る。

- 1 授業準備にロイノートを活用する
- 2 意見の共有はロイノートの提出機能を活用する
- 3 グループで考えた内容の発表に活用する

タブレット端末を活用することで、考えの時間と議論する時間を増やす。自己を見つめる振り返り時間をも確保することが出来る。

日本教科書社

教材『嵐の後に』を取り上げて、1時間でできる道徳授業の準備を紹介。授業分析、授業づくりの手順を具体的に示しています。シンプルな基本発問で自然発生する議論の種を見つけてください。教材内容の理解、発問の吟味、板書例、そして心構えを白木みどり先生がアドバイス。

植木幹明先生による道徳授業でのロイノート活用法を公開。事前準備や提出箱を活用することで生み出せる時間が増え、発言が苦手な生徒たちの意見も読めますし、グループで考えた意見を資料にまとめ発言の準備も可能。タブレット端末一人一台時代の道徳授業ノウハウを凝縮しました。



表紙のことは

表紙のイラストは、ラファエロの最高作といわれる『アテナイの学堂』のオマージュです。女の子（プラトン）が指を天に向けているのに対し、男の子（アリストテレス）は手のひらで地を示しています。これは、プラトンの観念論的なアイデア論の哲学に対し、アリストテレスの哲学の現実的なさまを象徴していると言われていています。今号の特集は「哲学と道徳授業」でした。お互いの違いを尊重し認め合い、対話や議論を進めることで、決して同調ではない「調和と協調性」を道徳と哲学から学んでいきましょう。

道徳方法学会 第9回オンラインセミナー

2023年10月29日(日)13:00~15:00

対話型論証で思考・判断と対話の力を育成する

※ 学会員のみ参加可能

<https://jamme.sakura.ne.jp/information.html>

「学びフェス2023 in 山口大学」

2023年10月29日(日)

会場：山口大学吉田キャンパス(21番教室)

多様な教育から道徳科を考えていく。

ICTに関わる体験展示会も併催

(主催：特別の教科道徳学びの会、

山口大学学部・附属共同プロジェクト 協力：上廣倫理財団)

方法：ハイブリッド(対面40名・オンライン80名)

入場無料

申込：<https://forms.gle/dgAyaq2Z2WvLt3PUx7>

道徳教育学会

第102回 令和5(2023)年度秋季大会

2023年11月11日(土)~11月12日(日)

会場：宮崎大学教育学部【木花キャンパス】

「よりよく生きるための道徳性を養う道徳教育の充実—他教科等との関連を見据えた道徳科のあり方—」

(主催：日本道徳教育学会 後援：文部科学省、宮崎県教育委員会(予定)、宮崎市教育委員会(予定)、全国小学校道徳教育研究会、全日本中学校道徳教育研究会、全国公民科・社会科教育研究会)

申し込み締め切り 10月31日(火)17:00

参加費 会員・一般参加:3,000円

<https://www.jsme102miyazaki.com/>

金沢大学附属中学校

令和5年度 第71回教育研究発表会

2023年11月23日(勤労感謝の日)

会場：金沢大学附属中学校

「新たな社会を見据えた探究的な活動に関する考察」

(主催：金沢大学附属中学校 共催：金沢大学人間社会学地域学校教育学類、金沢大学教職大学院 後援：石川県教育委員会、金沢市教育委員会)

http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/archives/005/202309/2023%E5%B9%B4%E5%BA%A6_2%E6%AC%A1%E6%A1%88%E5%86%85.pdf

申し込み締め切り：11月13日まで 入場無料

全国で開催されている先生方向けの研究会(研修・セミナーなど)の日程や内容をご紹介します。

道徳授業に役立つ研修会・セミナー情報

出合い、ふれあい、学びあう

「生き方」から学び、「生き方」を見つめ、「生き方」を創造する。
これが私たちのめざす「道徳」です。

先生方の授業をアシストする
メンバーページのアクセスが便利になりました。

メンバーページへのアクセス方法

日本教科書のメンバーページには、
右記の QR コードを読み込んでいただくか、



<https://www.nihon-kyokasho.co.jp/nikka-memberpage/>

を表示していただき、

パスワード nikkamember を入力してアクセスしてください。

また、弊社ホームページ <https://www.nihon-kyokasho.co.jp> からメンバーページに直接アクセスできるようになりました。「お知らせ」下の「日本教科書メンバーページ」をクリックしていただくと、「メンバーページにアクセス」のボタンが表示されますので、こちらをクリックしてください。次の画面でパスワード nikkamember を入力していただくとメンバーページに入れ、評価文例集、ワークシート、発問集、中学道徳通信 PLUS をダウンロードできます。



日科 中学道徳通信 vol.10 令和5年11月1日発行

発行所 日本教科書株式会社
発行人 奈良 威
編集人 三星雅人

デザイン ランドリーグラフィックス
表紙イラスト 青木俊直
写真 PIXTA amanaimages 編集部

本資料は、一般社団法人日本教科書協会
「教科書発行者行動規範」に則り、作成されています。
本書の無断転載・複製を禁じます。



道徳専門の教科書会社
日本教科書株式会社

〒150-0011
東京都渋谷区東 1-11-3
電話：03-3518-6345 FAX:03-3219-0660
<http://nihon-kyokasho.co.jp>